



WAVE

54号

ウェーブ

2013年9月

- 2 可能性が広がる
サポートワーカーズを作ろう
- 3 3人が集まれば...
- 4 INFORMATION

みんなの知恵と力と勇気を集めて

第15回通常総会報告

7月7日、コーププラザ浦和・会議室にて、第15回通常総会が開かれました。出席ワーカーズ32、参加人数79名。8団体の方々が来賓としてお越しくださいました。

生活クラブ生協清水理事長からは「協同」を力に進んで行こうと、日本労働者協同組合連合会 玉木様からは「民主主義を大切にする働き方」をめざして連携してゆこうと、他団体の皆様からも激励の言葉をいただきました。

議案はすべて賛成多数で可決され、最後に川越の新ワーカーズ『ま・た・ね』の田中さんから「メンバーを増やして事業の準備を進めてゆきます。ワーカーズの皆さんの思いに触れて素晴らしいと思いました。」と発言があり、新しい年度がスタートしました。



昨年度を振り返り、今年度の方針を議論し、決定。



皆さん こんにちは。会長の後藤です。
7月に総会も無事終了し、今年は委員も新メンバーとなり活動を開始しています。

東日本大震災後、2年半が過ぎっていますが、まだその復興のスピードは遅く、景気の回復もなかなか目に見えて進んでいるようには思われません。そんな世情を反映してか、私たちの働き方（協同労働）の関心もここ数年高まり、連合会への

問合せや外部団体との連携も増えています。

今年は連合会の第3次中期計画の最終年でもあり、次世代の育成などを含めて今後の道筋を考える重要な年でもあります。次期中期計画を策定するにあたり連合会を形作る一つひとつのワーカーズが経営基盤を強められ、新しいメンバーを増やしていけるような支援ができ、また新たなワーカーズが設立するための支援を強めるためにもしっかりした組織とそれを支える事務局ワーカーズを作らなければいけません。

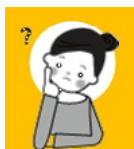
埼玉で最初のワーカーズができてから20数年、連合会となって15年今や37団体が加入しています。連合会の仲間が増え、その機能がさらなるステップアップするために皆で話し合い、力を合わせ、課題を乗り越え今年も一緒に登っていきましょう！



可能性が広がる！

中間支援を担うサポートワーカーズを作ろう

今年度方針の中で特筆すべき案件は、運営体制において「事務局機能の継続と共同仕入れの安定化に向けたPJ 答申」(以下「PJ 答申」)の具体化をすすめ、中間支援機能の充実を図るという点だろう。この「PJ 答申」の目的の一つは、生活クラブ生協の経済的支援によって充実させることができた連合会の事務局機能を、支援が切れたあとも後退させることなくさらに発展させることにある。目的の二つ目は、現在暫定的に関係各団体の好意で運営されている共同仕入れ事業(食ワーカーズの食材の受発注配送業務)の安定的な継続である。この目的をどのように達成するのか。新しいワーカーズを創る意味とは？新ワーカーズが担うものとは？イメージをふくらませていこう。



どんなワーカーズ・・・？

ある時は連合会事務局を担い、その中間支援の技術を組織内に蓄積し、ワーカーズ運動の推進役となる。またある時は共同仕入れ業務の受発注と荷さばき、配送も担い、会員ワーカーズを支える。また新たな県内産の食材も発掘し、食ワーカーズに提供し、地産地消を実践し、地域をつなぐ役割を果たす。ある時はワーカーズまつりを企画運営し、内外にワーカーズを知らしめる…。新しく作られるワーカーズは有機的に事業を広げながら「ワーカーズ支援の核になるワーカーズ」です。



なぜ、今必要なの？ 継続は・・・？

中間支援を行う連合会が、これからの支援活動をどのように充実させていくか考え、導き出した答えです。連合会としてやるべき事業は、今のままのかたちの連合会ではできません。一つの事業体なら担っていくことができるでしょう。この新ワーカーズは作らなければならないと同時につぶしてはならないということです。今後も連合会事務局の業務は増えることが予測できます。それに伴い限りなく事務局の人件費を上げることもできません。そのために新ワーカーズは共同仕入れなど、事業を拡げ、自立することも使命としているのです。



みんなでつくるのね！

その事業は特にワーカーズの支援を目的とすることが多く、会員ワーカーズが利用することでこの新ワーカーズを支えることができるはずです。お互いに支え合うことで経営も成り立たせようとする事業です。「食ワーカーズをもっと元気にしたい」「もっとワーカーズを増やしたい…」そんな思いを持つ人が担い手です。

運営委員会が青写真を描きました。これからは連合会メンバー全員でその実現を進めていきます。

多くの仲間がこのワーカーズを立ち上げましょう。

3人が集まれば、ワーカーズができる♪ ワーカーズができる♪♪

～「一人の手」のメロディで♪～

スペシャル交流会

◎総会終了後、初めての試みで「スペシャル交流会」が開かれました。◎

所沢のお掃除ワーカーズ「きらら」の安藤さんが司会ではじまり和やかに「なぞなぞ」などした後、全ワーカーズが自己紹介。配送ワーカーズはまとまって、他のワーカーズはエリアごとに、それぞれ個性的に各ワーカーズの紹介をしました。

その後は、各ワーカーズが持ち寄った品物の販売。日頃地域が離れていてあまり会う機会のないワーカーズと和気あいあい、楽しくおしゃべりしながら30分で完売！

最後は、全員で「一人の手」の替え歌を歌い、越谷のワーカーズ「ふるさと」安嶋さんの一本締めで終了しました。

企画を提案し、実行委員になった情報文化部門担当運営委員（前年度）「Mrs.ユニオン」の武田さんにお聞きしました。

去年までは情報文化部門が主催し、部門内のワーカーズが中心となって品物を販売する『スペシャルマーケット』を実施していましたが、年に1度の総会に全ワーカーズで交流する機会を持ちたいという要望があがり運営委員会に提案、承認され、各ワーカーズへの呼びかけなど協力してくださり、無事に実施することができました。

準備期間が少なかったのですが、皆さんの協力のおかげで大盛況、各ワーカーズの紹介も好かったし、お惣菜や手づくり品、お野菜の販売など盛り上がってよかったと思います。もう少し時間のゆとりが取れたらよかったと反省もありますが、埼玉ワーカーズ一同の絆を感じることができました。

「はじめて参加しました。埼玉にこんなにたくさんのワーカーズがあるのだと実感できました。」（こうさてん・打越）

「皆さんの顔が見えて良かった。楽しかったです。2年間一緒にいた情報文化部門の方たちと力を合わせて仕事できたことも、心に残りました。」（いと・）

（まとめ・大塚）



みんなでなぞなぞ「わかる人？」



笑顔で自己紹介



品物を選びながら交流



大所帯のワーカーズ「つどい」は大勢で参加！



「地域にあったらいいな」をワークスで実現しましょう

9月5日川越市起業相談会開催

川越市産業振興課からの委託で、3組の個別相談を連合会運営委員5名で行いました。日常的に高齢のお知り合いをサポートされている方は助け合いの事業を。自身も仕事をしながらの子育てを経て子供を巣立たせ、教師を退任した方は新しい学童保育事業を。みなさんの夢は地域の暮らしに「あったらいいな」を具体化したものでした。

相談者は皆、ワークス・コレクティブを初めて耳にされたようでした。最初に「ワークスとは？」を丁寧に説明し、ワークスの多くの利点や、想定される事業については、私達の経験に基づく具体的な話をしました。



川越市庁舎前の会議室を会場に、3組の相談を受けました。

相談者のアンケートでは、今後、それぞれの事業立ち上げに連合会の支援を期待されていました。昨年度の相談会に引き続き、連合会の設立支援により私たちの仲間が増えることを期待するところです。

てとて 仲谷まり

お知らせ！

出前講座 講師派遣します

ワークスってなに？

2時間 1万円 + 交通費

(関係団体は5千円)

詳細は事務局にお問い合わせください。

第11回 ワ - カ - ズ・コレクティブ全国会議
in 大阪

「 いっちょ、やったるか !!
働く人の協同組合
ええんちゃう? 」

開催日：2014 年2月8日(土)、9日(日)
会 場：大阪市立大学(大阪府大阪市)
参加費：3500 円(当日配布冊子および後日送付の報告書の代金を含む)
を予定

冊子 ワークスをもっと知りたい、もっと広めたい。そんな人たちのために

ホップステップワークス

起業のためのガイドブック

改訂新版！埼玉 W.Co 連合会発行 500 円

第10回

ワークス・コレクティブ全国会議 in 千葉 記録集
WNJ 発行 1200 円

WNJ：ワークス・コレクティブ ネットワーク ジャパン（全国組織です）

あとがき この夏「長崎の被爆体験を聴く会」に参加しました。原爆の直撃で亡くなったお父さんを、お母さんと二人の弟と野天で火葬し、二つの弁当箱に詰めたのは、お話して下さった久保山さんが8歳の時だったということです。話すたび身体が堅くなるという辛い体験を、静かな言葉で、福島の子どもたちにも想いを寄せて語ってくださった、その場に居られた事が貴重な体験でした。認識と想像力を磨き、自分のできることすべきことを考えたいと思います。(お)

ワークス・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行・・・埼玉ワークス・コレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者・・・後藤成美 編集・・・広報チーム 佐藤/福島/齊藤/大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話 048-844-0221 FAX048-838-7884

<http://saitama-workers.com/>